

会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度 第2回長岡市図書館協議会
2 開催日時	令和7年2月27日(木曜日) 午前10時から11時48分まで
3 開催場所	中央図書館2階講座室1
4 出席者名	【協議会委員】 渡邊委員長、淵本副委員長、小原委員、多田委員、中村委員 野中委員、笹岡委員 【事務局】 梅沢館長、鈴木ミライエ長岡企画推進室企画担当課長、五井 館長補佐、近藤総括副主幹、馬場庶務係長、石井奉仕係長、 広井歴史文書館長 指定管理者：菰澤統括責任者、発地業務責任者
5 欠席者名	小林委員、江川委員、山本委員
6 議題	協議事項 ①令和6年度長岡市立図書館の活動評価（案）について ②令和6年度米百俵プレイス ミライエ長岡 互尊文庫の取り組みについて ③令和7年度の運営方針（案）について ④令和7年度の主な事業計画（案）について
7 審議結果の概要	議事①～④について ①～④事務局提案のとおり決定した。
8 審議の内容	
委員	(1) 協議事項 ①令和6年度長岡市立図書館の活動評価（案）について （資料1により説明） 主な質問・意見は次のとおり I 基本評価について 目標値が100%に届かない箇所があるが、地域的なものが理由なのか。

事務局	地域によって図書館がないところは、取次所を設け、支所やコミセンが窓口になって本を受け取ることができる。 寺泊地域には図書館があるが、利用者が少ない一方、西地域図書館では利用者が多いなど、地域によって差がある。 支所地域では、人口減少が大きいところもあり、取次所における本の受け渡しが減少しているところもある。
委員	長岡市の人口は、令和5年4月と令和6年4月を比較すると約3,100人減少しているが、有効登録者数や実登録者数が増えている要因は、互尊文庫と関係があるか。
事務局	互尊文庫では、3時間使用できる予約席がある。貸出カードがないと席を予約できないため、学生を中心に貸出カードの発行が増加していることが有効登録者数や実登録者数の増加の要因になっていると考えている。 こういった予約席の確保だけでなく、純粋に本を借りる人もいる。
委員	学生の内訳はどうか。
事務局	中学生もいるが、高校生が多い。
	Ⅱ 重点事項評価について
委員	「1-②郷土資料の充実」について、基本評価は「C」、重点事項項目は「A」になっているが、考え方はどうか。
事務局	資料予算が減額になっていることから、重要な資料を収集することが課題となっており、いろいろな情報を駆使して必要なものを収集する努力をしていくことが重要だと考えている。
事務局	郷土資料について、基本評価は単純に冊数を評価しているが、重点事業評価は郷土資料が活用されるように工夫を行っている。 基本評価と重点事項評価では評価の観点が違うことにご理解をいただきたい。
委員	資料整理ボランティアの活動について、若い学生から参加があったと説明があったが、何をきっかけに招集したのか。

事務局	ホームページにボランティアの活動状況を掲載しており、そちらを見た、また昨年度、中越大震災 20 年の関連で関心があったと聞いている。
委員	年齢層が幅広くなったということか。
事務局	そのとおりである。 また、昨日、三条高校の生徒たちが地域学習の一環として来館した。中越大震災を経験したことがない世代とのことで、当館としても熱を入れて説明した。将来、ボランティアとして来てくれればうれしい。
委員	貴重な資料がたくさんある中で、ぜひ公開し、見る人から感動していただきたい。ひいては、地元に誇りを持ってもらうような活動をしていただきたい。 資料の収集・保存・活用の中で、収蔵庫の空きスペースの問題があるか。 また、デジタルアーカイブスをうまく活用して、地域の文化的資料を一体化する必要があると思っている。工夫する点はあるか。
事務局	中央図書館には収蔵庫があり、作品はこちらに収蔵しているが、ほぼ満杯になっている。気温・湿度を管理しなければならないため、貴重資料を他の部屋で管理することは難しいので、収蔵庫に棚を設置するなど、限られたスペース内で管理したい。
事務局	デジタル関係では、図書館のホームページで河井継之助の塵壺（ちりつぼ）などを公開している。 また、県立図書館でも長岡市を含め、県内貴重資料をホームページで公開している。
委員	館内のブラインドが古く、動かしてはいけなと聞いているが、改修工事の予定はあるか。
事務局	以前も改修を計画したが、多額な予算がかかる。児童コーナーのところは日が当たり、本の表紙が焼けないようにするため、ブラインドが動かないようにしている。
委員	本ラベルが複雑すぎるので、分かりやすくしてほしい。

事務局	これまでテーマ展示の請求番号が英単語で分かりずらかったが、システムの改修に伴い、レシートに日本語で表示されるので、分かりやすくなると思う。 例えば、ビジネスは「X」と表記されていたが、「ビジネス」と表記される。
委員	読み聞かせボランティア養成講座について、初心者向けなのに、実際には経験者が多く集まっていて、初心者は少なかった。ステップアップしたい人が多いのに、長岡市ではないので、新潟市などに行ったりしている。経験者向けの講座があればうれしい。
委員	米百俵号ブックカーニバルについて、地域を訪問するということか。
事務局	夏休みは子どもたちが児童館や児童クラブに集まるので、希望があったところに巡回している。希望は、毎年地区を変えて聞いている。
委員	旧互尊文庫に通っていた人が新互尊文庫に行くと、9分類（日本の小説）が少なく、棚に並んでいる中から本を選ぶことができなくなっている。新互尊文庫に小説が少ないことは承知しているが、それについて中央図書館で手だてがあるか。 また、外部からの視察対応もあると思うが、一般向けに館内を案内するツアーなどを行ってほしい。
事務局	読みたい本が決まっていれば、互尊文庫で予約すれば読めるが、小説については棚に並んでいる本から選ぶのはなかなか難しい。
事務局	ミライエの見学については、個別対応は難しいが、コミセンや町内会といった、ある程度まとまった団体であれば対応可能である。 ②令和6年度米百俵プレイス ミライエ長岡 の取り組みについて (資料2により説明) 主な質問・意見は次のとおり
委員	互尊文庫のインスタグラムを見ているが、本の紹介が分かりやすく、読みたくなると感じている。作成者は研修を受けているのか。

事務局	互尊文庫窓口業務を委託している会社は、他地域のスタッフから派遣いただき、研修を受けている。本に興味を持ってもらうなど意識しながら作っている。写真の撮り方についても、本を人の手に持たせるなど、どうやったら効果的に発信できるか、研修の中身を考えている。
委員	互尊文庫で大人向けのブックトークを行うことはできないか。
事務局	今のところ考えていない。
委員	市民インタビューが3回程度、各回約4名の参加があったということだが、どういう人が選ばれたか。
事務局	市政だよりとInstagramで募集し、造形大や技大の学生など比較的若い世代の人や、50～60代の本に興味がある人といった幅広い年齢層の人から来てもらった。 ブックディレクターの幅さんから館内にある本を机の上に並べていただき、参加した人から手に取ったものについて、どうしてこの本を選んだのか説明していた。 互尊文庫の本は、表紙を見せることを重点的にしているので、幅さんから本の見せ方のポイントを伺った。市民インタビューを受けて、来年度に向け、どういう本があるといいのか、リストに反映していく。
委員	互尊文庫は、ミライエ長岡の3階・5階にあって、5階にはナデックベースがあり、ビジネス系の本が置かれている。同じ本がずっと置かれているのか。
事務局	ビジネス系の本は5千冊ある。本の入れ替えはしているが、統計といった本が多いため、本の入れ替えをしていないように思われている。ナデックベースの利用者から手に取っていただけるような動線にしている。
委員	来館者は、インターネットで情報収集しているような感じが見られ、本での情報収集についてはあまり感じるできないので、もう少しうまく活用できないか。
事務局	5階は学生が席を埋めている。当初は閲覧専用の席を設けていなかったが、その後ニーズにより席を設けた。

委員 事務局	統計など細かいものは本でないと分からないので、ビジネストレンドの本を購入して棚に入れている。席で本を読んでいる人も見かける。 ③令和 7 年度の運営方針（案）について （資料 3、4 により説明） ④令和 7 年度の主な事業計画（案）について （資料 5 により説明） 主な質問・意見は次のとおり 戦後 80 年を迎えるに当たり、いろいろなところで企画をしていると認識しているが、図書館では何か考えているか。 関連した映画会や長岡空襲など戦後 80 年をテーマにした展示を行う予定でいる。
9 会議資料 別添のとおり	